

<有意義だった点>

自分自身がたくさんの実験の被験者になれたことで、知識が増えると共に、バイオメカニクスに対する興味がさらに高まりました。また、JISSの研究員の方々のお話を聞けたり、質問に答えてくださったことがとても有意義でした。この2日間の経験を活かして、これからの大学生活を充実させていきたいと思います。(1年男)

日本に誇るトップアスリートを最先端の情報や技術を駆使してサポートする憧れのJISSでバイオメカニクスを体験できたこと。また、選手目線、研究者目線の両方を体験できたので面白いと感じることができた。日本バイオメカニクス学会の企画として学会から交通費が支給されたことは学生の私にとって、とてもありがたかった。他大学の同世代でバイオメカニクスに興味がある仲間と繋がりを持つことができた。(3年男)

被験者として、筋力・形態・身体組成・ジャンプといった、様々な測定を、測定方法を教えてもらいながら経験することができ、分かり易く、かつ大変興味深かったです。時間にも余裕があり、質問をする時間も十分に設けられていたため、分からないところも解消され、大変良かったです。(4年女)

二日間の研究会に参加させていただき、貴重な経験をさせていただきました。普段触れることのできない機器や、JISSのトレーニング施設の充実ぶりを感じました。さまざまな測定を行う中で、一人のアスリートを測定するという事はあらゆる観点からデータを取り、多角的に運動能力を評価し選手にフィードバックを行っていると感じました。今回の経験を通じて、具体的にスポーツ科学という領域がどのような事柄を追い、選手の競技能力向上を図っているのかということを実感しました。(4年男)

今回のバイメカ研究法でとても印象に残っているのは、BLSでの形態計測です。仲間とお互いに確かめながら身体にシールを貼っていき、大転子などをうまく見つけられた時がとても嬉しかったです。形態について丁寧に教えていただいたので、身体への興味がより湧いてきました。(4年男)

有意義だった点は3点あります。

まず、様々な施設や機械での測定を体験できた点です。大学にはない機械やあっても使うことのできない機械での測定は見たり、聞いたりするだけでなく、実際に体験してみたことで、被験者側の感じ方を学ぶことができました。

次に、食事や宿泊施設、風呂などがアスリートと同じ場所だった点です。一生頑張っても、泊り、食事することのできない施設を経験したことは、アスリートになった気分も味わえ、貴重な経験となりました。

もう一点は、同様の志を持った他大学の学生と話し、体験し、食事も入浴も一緒に行動した点です。1日のみではあるものの、行動を共にすることで、仲よくなるのみでなく、たくさんの方の考えや意見を学ぶことができました。(M1 男)

今回「バイオメカニクス研究法への」に参加して、感じたことが三点ありました。まず被験者として色々な測定を行えたことが一番貴重な体験だったと思います。普段測定する側が、測定される側にまわることでどのようにこれから自分の測定、実験に役立てられるか理解を深められました。そして、トップアスリートが訪れる JISS で最新の測定機材、測定のためだけの大きな施設を直接見れたことが一番すばらしかったことです。さらに、JISS の事業内容をわかりやすく説明してくれたことは、将来研究職を目指している自分にとってすごくためになる話だと思いました。この経験を残された学生生活に生かしていきたいと思っています。(M1 男)

<改善を望む点>

実験ではひとつの部屋しか使われなかったため、他の施設を案内していただきたかったです。(1 年男)

改善点はなく大変満足している。あえて言うなればサイベックスの結果をもらうのを忘れてしまったこと。いろいろな測定の結果をトップアスリートと自分とではどのように違うのか比べてみたかった。(3 年男)

全ての項目において、時間に余裕があったが、もう少し被験者として経験する時間が欲しかったです。時間にも限りがあるため、難しいとは思いますが、より多くの測定(今回経験した、5 種目以外で)を経験し、勉強したいと思いました。(4 年女)

二日間の測定の中で、様々な測定を行いました。時間的な制約もあり難しいと思いますが、一つ一つの測定にかかる時間がもう少し長ければよかったですと感じました。もっとより深く測定している内容を知りたいと感じました。(4 年男)

陸上競技実験場が改修工事で見られなかったのが残念でした。(4 年男)

改善したらよいと思った点は2点あります。

まず、測定の際に、被験者だけではなく、験者側の仕事も体験したいと考えた点です。やはり、珍しい機械だったので、PC での画面操作などを行ってみたいと感じました。

もう一点は、ロンドン前だったこともあり、測定が同様の室内のみで行われてしまった

点です。いろいろなところで測定をしてみたいと思いました。(M1 男)

今後改善して欲しい点は、もっとゆっくり測定を進行していった方がいいのかとおもいます。グループ毎に色々な測定場所を周ったのは、すごく素晴らしいことだったが、時間が1時間程で区切られていて大急ぎで測定を行うことになっていました。それなら決められた人だけが測定を行い、残りの人は機械操作をしっかり教えてもらったり機械の質問をしたかったと思いました。あとは、グループ内の被験者すべてを測定したので時間が、足りなく一部のデータ結果を見せてもらえずに終わった測定もありました。せっかく測定を行ったのにデータ結果がわからないのは少し残念でした。(M1 男)